

# 青空文庫

インターネットの電子図書館、青空文庫をまるごと、DVD-ROMにおさめました。

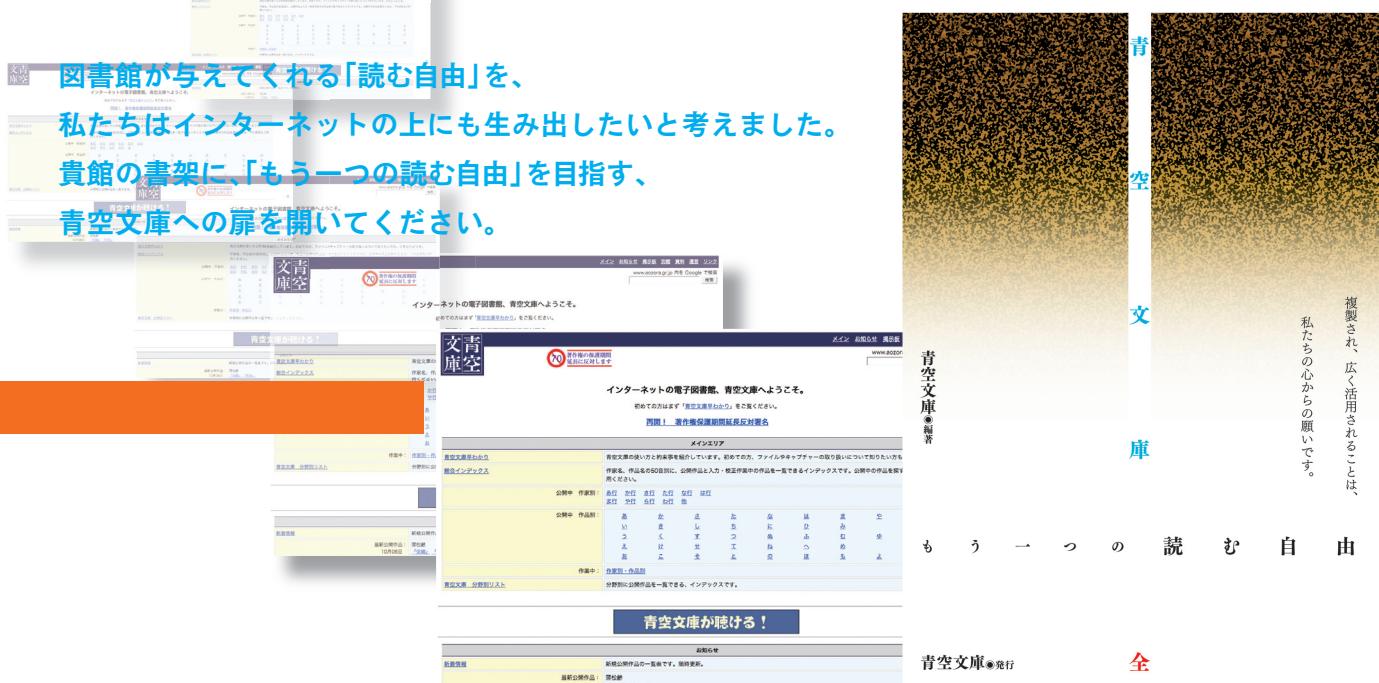
使い方と、青空文庫の成り立ちを説明した『青空文庫 全』に添えて、図書館にお届けします。

公共図書館と大学、短大、高専付属図書館には、2007(平成19)年10月末まで。

## 配架のお願い

高校図書館には、11月20日ごろ配送の予定です。

『青空文庫 全』の寄贈計画は、日本図書館協会のお力添えと、ライブラリー・アド・サービスのご協力を得て、進めます。



青空文庫が活動を開始して、一〇年が経過したとお聞きいたしました。図書館関係者ならば、知らない者はいないであろう、あの青空文庫が開設十周年を迎えたことに、まずもってお祝いを申し上げたいと存じます。

図書館の最も重要な役割は、人類のもつ知識情報を万人の共有物として共有化することにあると思われます。そのため図書館は永い時間をかけて様々な技術、システムを創りつづけてきましたが、青空文庫は近年の情報技術の飛躍的な進歩を利用して著作権の保護期間が切れた著作物を世界中の人々に開放することにより共有化を進めるという偉大な事業を展開されています。しかもその事業を非営利で立上げ、その後数百人のボランティアが支える仕組みも作り上げました。

著作権者の一部には著作物のエンドユーザーである一般大衆が著作物に敬意を払わず、ないがしろにしていると非難する方が存在しています。しかしそれは大きな誤解で、多くの市民は歴史的著作物に価値を見出し、だからその作品の永遠なることを願っているのです。青空文庫はそのような心根を強く持ったボランティアの活動の拠点にもなっています。つまり一部の著作権者が望みながら叶えられないと嘆く、作品と作家への敬慕が最も強く発現している営みが実現されているのです。

青空文庫は十周年記念事業として、これまで蓄積してきたコンテンツを収録したDVDを全国の公共図書館、大学附属図書館、高等学校図書館などへ寄贈されることであります。DVDは、青空文庫のこれまでの歴史活動の状況、サイトの利用法などをまとめた小冊子に添付された形で送付されます。DVDに収録される作品は著作権フリーであるため、コピーも自由に行なえるので図書館においてコピーを行ない利用者に頒布することも可能です。青空文庫のサイトへ直接アクセスすることに躊躇する市民も冊子の解説とDVDのデータを用いて作品を鑑賞、分析、加工することができます。

青空文庫のこの度の素晴らしい取組みに対し、各図書館においてはPRはもちろんのこと、智恵をしぼって青空文庫の利用促進を図っていました。たとえば退職後の団塊の世代の中には、お気に入りの文学作品を分析研究する方も少なくないと想いました。それらの方々に対して「青空文庫の利用講座」を開催するなどといふことも可能でしょう。また大学では既に行なわれている文学作品の分析のための利用などもできるでしよう。日本図書館協会とともに今回の事業に関しましては、やかなお手伝いをさせていただいていることから、各図書館において積極的な活用が図られることを希望いたします。

### 推薦の言葉

常務理事・事務局長  
松岡 要  
社団法人日本図書館協会

『青空文庫 全』のDVD-ROM  
と本文は、コピー自由です。  
複製され、広く活用されることは、  
私たちの心からの願いです。

『青空文庫 全』のDVD-ROMには、2007(平成19)年10月1日現在、青空文庫で公開されていた、著作権の切れた作品6612点を収録しました。

著作権の有効な作品は、このDVD-ROMには、おさめられていません。

どうぞ、DVD-ROM込みで貸し出して  
ください。

DVD-ROMには、予備を用意しました。  
下記申し込み先にご連絡いただければ、  
もう一枚、無料で送ります。

DVD-ROMは、お手元でコピーしていた  
だいてもかまいません。

DVD-ROMにはさらに、『青空文庫全』の本文が、PDFのファイルにしておさめてあります。

これをプリントアウトすれば、本文全体のきれいなコピーが、容易につくれます。もちろん、コピー機を使って、全体を複写していただいてもかまいません。

『青空文庫 全』は、DVD-ROM、本文とも  
自由に複製してください。

**寄贈計**  
表現は本来、誰かが触れて、学んだり楽しんだりしても、へることも、損なわれることもない。広く受容されることだけに目標を絞って良いのなら、自由な利用にまかせておけばそれでよい。「ならば、作者が死んでもはや権利保護が創作の励ましとならなくなつた時点では、縛りを外して利用を促そう」死後五〇年で権利を切ることに、著作権制度は、こんな期待を込めてきた。その願いは、長く空念仏に終わってきたが、ファイルの複製と移動のコストを激減させるコンピュータ技術と結び付いて、手応えのある現実に変わった。保護期間を七〇年に延ばす選択は、インターネットが普及して、まさに今、花開きつつあるデジタル・アーカイブの可能性を制約してしまう。

(『インターネット図書館 青空文庫』3章「天に積む宝」の  
ふやし方、へらし方より)

青空文庫について、より詳しく説明した『インターネット図書館 青空文庫』(野口英司編著、はる書房)を、200冊用意しました。書架に置いてくださる公共図書館、学校図書館からお求めください。

青空  
文庫  
16  
<http://www.aozora.gr.jp/info/>

一冊お送りします。  
送付先を明記した上で、info@aozora.gr.jp宛に  
ご連絡ください。

ためらいなくDVD-ROM付きで貸し出していただけるよう、『青空文庫 全』の予備DVD-ROMを、1000枚用意しました。

こちらをご希望の際も、info@aozora.gr.jp宛に  
ご連絡ください。一館一枚、送ります。

どちらも、確保した数量に申し込みが達した時点で、締め切らせてもらいます。

文庫  
0008 東京都新宿区三栄町8番37号  
[www.aozora.gr.jp/](http://www.aozora.gr.jp/)  
[aozora.gr.jp](http://aozora.gr.jp)